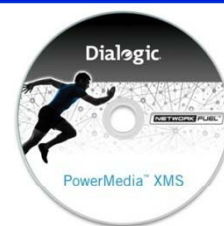


WebRTC 対応



WebRTCにも対応したソフトウェアメディアサーバプラットフォーム

Dialogic® PowerMedia™ XMS (Extended Media Server)

リアルタイム音声・ビデオ通信ソリューション用のソフトウェアメディアサーバプラットフォーム「PowerMedia XMS」を利用することで、メディアサーバアプリケーションを専用ハードなしに短期間に構築可能。仮想化やクラウドへの移行にもシームレスに対応し、キャリアグレードの拡張性を実現するほか、WebRTCクライアント（ブラウザ）と連携したソリューションやサービス開発にも威力を発揮します。

WebRTCとは？

WebRTCはブラウザ上でプラグインなしでリアルタイムコミュニケーションを可能にする、ウェブのためのフレームワーク。WebRTC対応のブラウザを利用しているユーザ同士であれば、特別なプラグインのダウンロードなしで、音声やビデオを使ってリアルタイムでコミュニケーションできます。

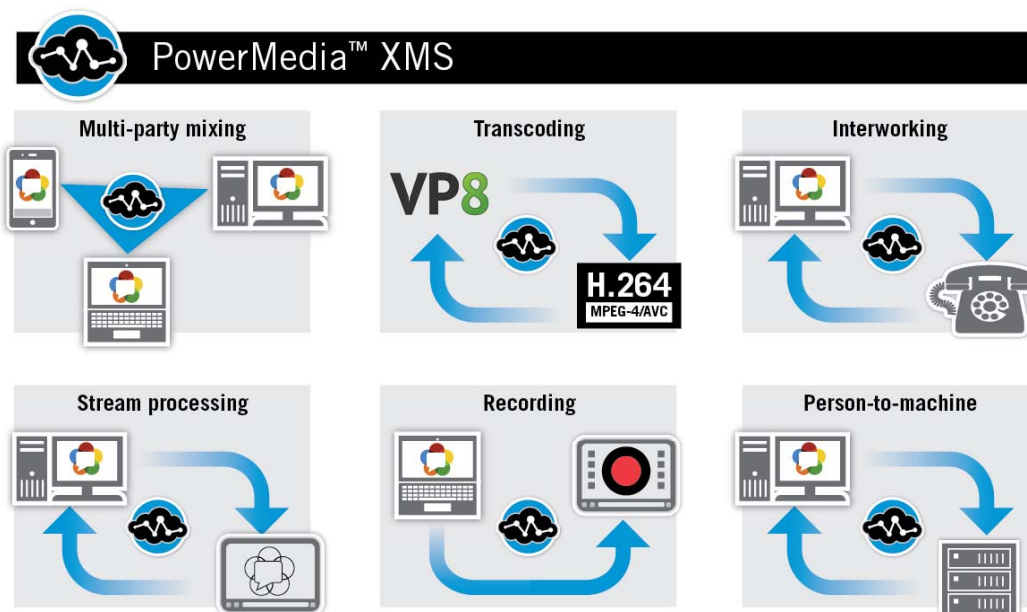


しかし、WebRTC同士1対1の通信以外の、複数のブラウザ間での会議、もしくは、SIP端末も交えての会議や、ブラウザからSIP端末への通信を実現するためには、WebRTCに対応したGWもしくはメディアサーバが必要になります。



そこで！ 「PowerMedia XMS」の出番です

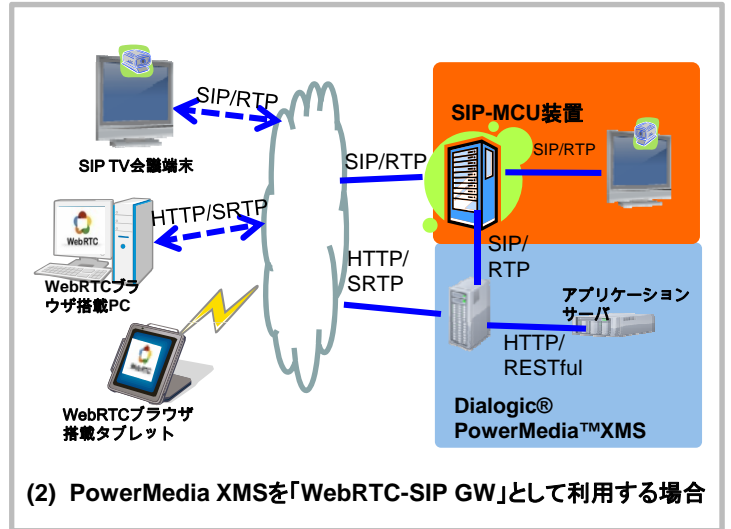
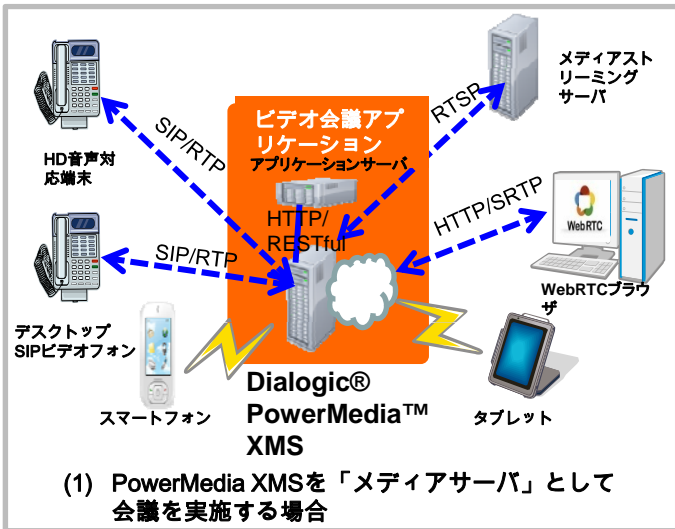
「PowerMedia XMS」はSIPに加えてWebRTCシグナリングに対応し、WebRTCで利用される音声・ビデオコーデックもサポート済み。WebRTC対応ブラウザユーザ同士及びWebRTC対応ブラウザユーザとSIP端末ユーザ混在のビデオ/音声会議サービス用メディアサーバの他、既存のSIPソリューションへ接続するためのWebRTC-SIP GWとしても利用できます。



WebRTCとの連携アプリケーションイメージ

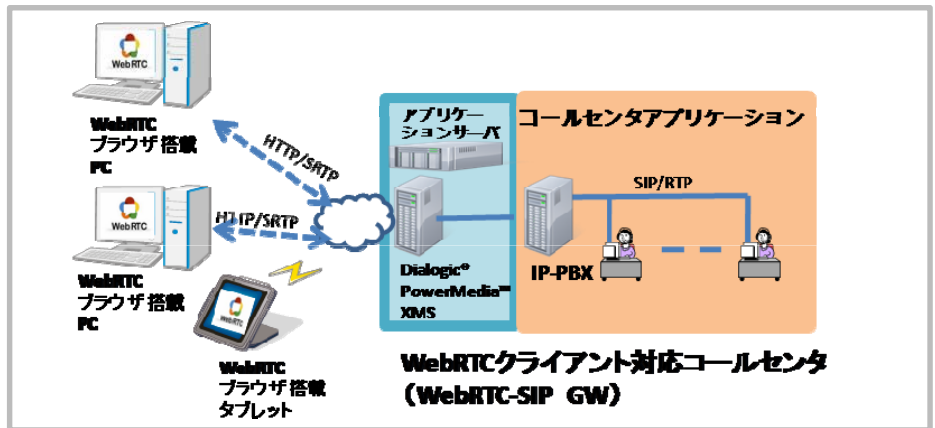
1. ビデオ会議ソリューション

WebRTC対応ブラウザユーザ・SIPユーザ混合のビデオ会議ソリューションでは、PowerMedia XMSをメディアサーバ(MCU)として利用することも、WebRTC-SIP GWとして利用し既存のSIPソリューションに接続することも構築可能です。

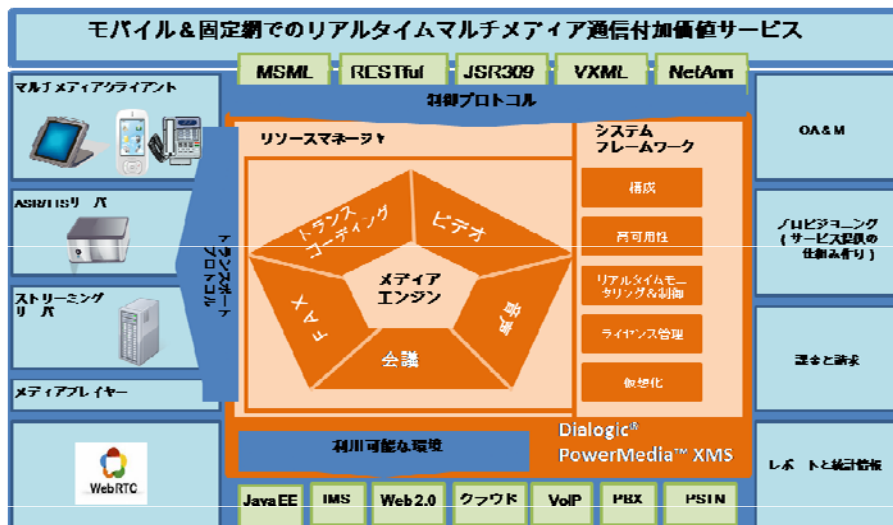


2. WebRTC対応コールセンターソリューション

PowerMedia XMSを、WebRTC-SIP GWとして利用することで、既存のIPコールセンタにWebRTCブラウザ利用者からビデオ(音声)通信することが可能になります。



PowerMedia XMS : インタフェース、機能及び利用可能な環境



※文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
 ※本カタログ記載の内容は予告無く変更することがあります。

お問い合わせ先 **TEL:044-280-8777 FAX:044-520-1558**
E-mail:vocalnet-ct@ml.ntt-at.co.jp

NTTアドバンステクノロジー株式会社 グローバルプロダクツ事業本部 メディアコミュニケーションプロダクツビジネスユニット
 〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー6階 2013年11月現在